

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（10月）

留学先：The University of Findlay

氏名：岸本有実子

【はじめに】

アメリカに来てから早くも2か月が経過し、ようやく落ち着いた生活を送ることができるようになってきました。相変わらず寒暖の差が激しいとはいえ、10月に入ってからますます気温が下がり、早くも最低気温が0℃近くまで冷え込む日も出てきました。留学生の友達に会ったときは、気温の話をしたり、それから派生して自国の気候を紹介し合ったりしています。さて今回は、こちらに来てから経験したアメリカならではの困難について報告したいと思います。また、普段友達と過ごす時間やそこで感じることなどについても紹介します。

【たいしたことではないけれど…】

こちらに来てすぐに一番不便に思ったことは、移動手段がほとんどないことです。フィンドレーには公共交通機関がないため、隣町に行くことでさえ容易ではありません。現地の学生はほとんどといってよいほど自分の車を所持しているのですが、どこかへ行きたくとも予定が合わないなど、遠出をするのが難しい状況です。週末の課題なども出るため、時間もなかなか確保できません。今学期が終われば1か月ほど冬休みがあるので、その際には必ず旅を楽しみたいです。

私は県の奨学生の小野さんも含め11人とシェアハウスをしています。家のドアは全てオートロックで、一度鍵を家に忘れてしまった時は大変です。加えて私にはルームメイトがいないため、そうなった場合には必ずレジデンスアシスタントに迷惑をかけることになってしまいます。この点に関しては、自分が気を付けていればよいのでたいしたことではないのですが、問題は留学生活ならではの困難、ホームシックです。

私の場合、ホームシックは9月に入ったあたりから始まりました（友達には早いと言われました）。特にその時期はまだイレギュラーな出来事が多く起きたり大学のホームページ上の自分の学費の表示が誤っていて（かなり高額だったので）困惑したりと精神的に不安定な時期でした。また徐々にアメリカや他国の文化についても分かってくるにつれてカルチャーショックを受け、なかなか大学になじみにくいと感じたこともありました。特にディスカッションのような場面（こちらでは授業中だけでなく日常的にそれが起こります）では英語の能力的に劣っていると痛感し、落ち込んでしまうこともありました。そのようなときは、SNSを通して日本の友達に気持ちを打ち明けたり家族と連絡を取ったり、こちらに来ている日本人学生と励まし合ったりしていました。加えて、こちらの日本語学科の学生たちとたくさん交流することによって、なるべく自分の殻に閉じこもらないように努めました。このように日本の人々もかなり恋しく思っているのですが、こと食に関しては毎日のように日本食を思い出してホームシックを感じます。そこで、日本人学生で協力して材料を揃え

てお好み焼きパーティをしたり、日本料理を自分達で作る会を時折開催したりしています。その際にはもちろん現地学生を招き、日本料理を楽しんでいます。私の場合、ホームシックはもうほとんど治ってこちらにいたことがとても自然に思えるようになってきました。一つひとつの困難は乗り越えてしまえば些細なことですが、異国の地にいるというだけで精神的に重くのしかかってくるように感じます。そのようなときこそ、友達や人々と関わり、楽しい時間を共有することの大切さを改めて実感することができます。

↓お好み焼きパーティの様子です。



【友達と過ごす時間】

前述のとおり、こちらに来てから友達と助け合いの毎日を送っています。特に、現地の日本語学科の学生や日本への留学経験がある学生などは私たちのことをとても気にかけてくれます。バスやホテル、航空便の予約を手伝ってくれたり、英語の添削をしてくれたりと至れり尽くせりです。逆に、日本語学科の学生は日本のことをとても学びたがっているため、こちらは日本語の課題を手伝ったり、

日本の文化や習慣を紹介したりしています。

それに関する最近の大きな出来事ですが、10月の1週目に4日間の秋休みがあり、日本語学科の友達が彼女の家を私を招待してくれました。私は彼女の家で2泊3日のホームステイをしました。彼女の友達に会ったり、家族と出かけたり、日本のアニメや映画を英語で鑑賞したりしてとても楽しい時間を過ごすことができました。彼女は日本語を3年ほど学んでいるため、今は話す練習がしたいということで私もなるべく日本語で会話をするようにしました。これからも彼らとお互いに学び合い、よい友好関係を築いていきたいです。空き時間には、よく数人で集まって体育館へ行き、バスケットボールや卓球などのスポーツをして楽しんでいます。これらはとてもよい息抜きになり、つらいときでもリラックスすることができて助かります。

さて、ここまでこちらの生活上で起こる困難や不便、友達との時間について述べてきました。その他にもこちらで書ききれないほどの経験をしたのですが、これから本格的に始まる活動が、ボランティアです。私が参加しているのは、主に地域の子どもたちを対象にしたボランティア（Genki Kids と FundaySunday）と、Habitat for Humanity というボランティアです。後者の活動はすでに終了していますが、前者に関してはこれから活動が本格化します。来月分の報告書では、私が今学期中に参加しているボランティア活動について紹介したいと思います。それでは、また来月の報告書で。